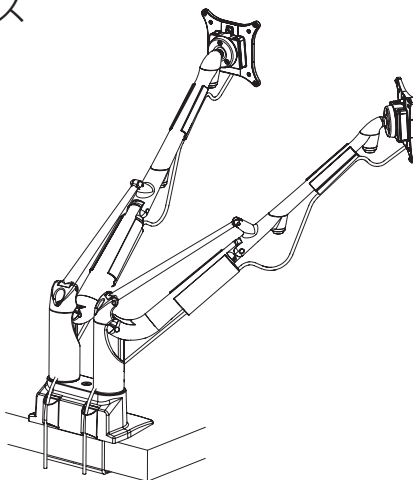


卓上テレビ&モニター VESA 規格アーム
TV セッターオフィス



HL122

設置マニュアル



施工者の方へ

設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください



右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください

取り付け前提条件	モニター背面对応ネジ穴幅	対応モニターインチ	最大モニター重量
モニター背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、テレビ背面がフラットである事	モニター背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 75×75mm、100×100mm VESA 規格	13-32 インチ	1アームにつき 1.5~7.5kg 

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・卓上用途以外でのご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

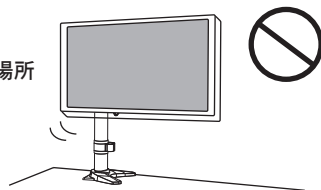
製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00~18:00(土・日・祝除く)

販売元: スタープラチナ株式会社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F
<https://starplatinum.co.jp/>

設置にあたって：必ずお読みください

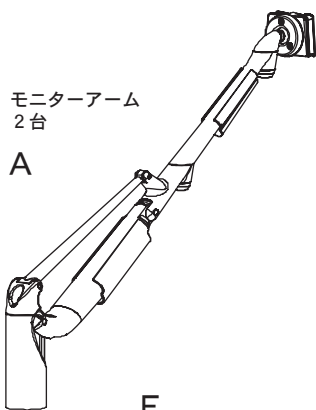


- 必ず荷重強度のあるしっかりとしたデスクやテーブルに設置してください。
無理な設置は、デスクやテーブルの転倒、モニターの落下や大怪我に繋がります。
- ある程度、天板に厚さのあるデスクやテーブルに設置してください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。
火災などの原因になります。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、設置に不都合だと思われるデスクやテーブル



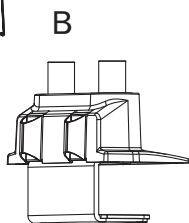
※振動など不安定な設置

付属部品リスト一覧



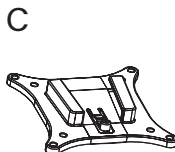
モニターアーム
2台

A



B

テーブルクランプ
1台



C

ブラケット
2枚



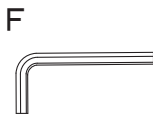
D

M4×12mmボルト
8本



E

6mm六角レンチ
1本



F

5mm六角レンチ
1本



G

4mm六角レンチ
1本



H

3mm六角レンチ
1本



I

グロメット用パッド
1枚



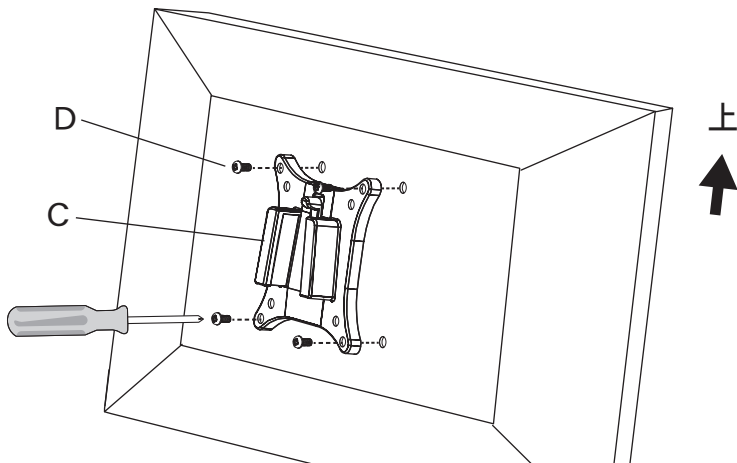
J

グロメット用六角ネジ
1本

ステップ 1

ブラケットの取り付け

図を参考にして、ブラケット[C]をモニター背面の壁掛け用ネジ穴に取り付けます。
取り付ける際に上下を良く確認してください。
モニターにネジが合わない場合、お手数ですがホームセンターなどでご用意ください。



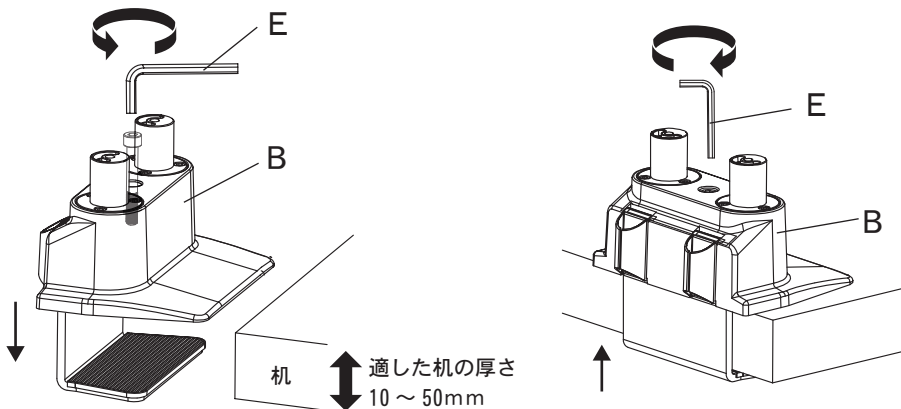
- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一ネジが合わない場合、取り付け可能モニター (VESA 規格対応) で無い事になります。
お取り付けができませんので設置作業を中止してください。

ステップ 2-a

クランプ部のデスクへの設置

クランプ中央の六角ネジを 6mm 六角レンチ[E] で反時計回りに回して、
下部のコの字部分を机の厚さ以上に緩めます。

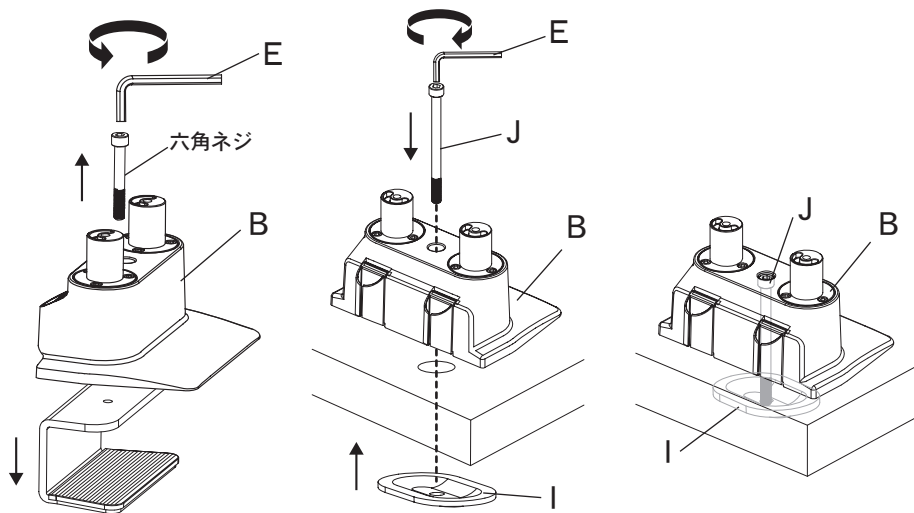
コの字部分で机を傷つけないように挟み、
クランプ中央の六角ネジを今度は時計回りに
回して動かないようにしっかりと固定します。



ステップ 2-b クランプ部のデスクへの設置・貫通する場合

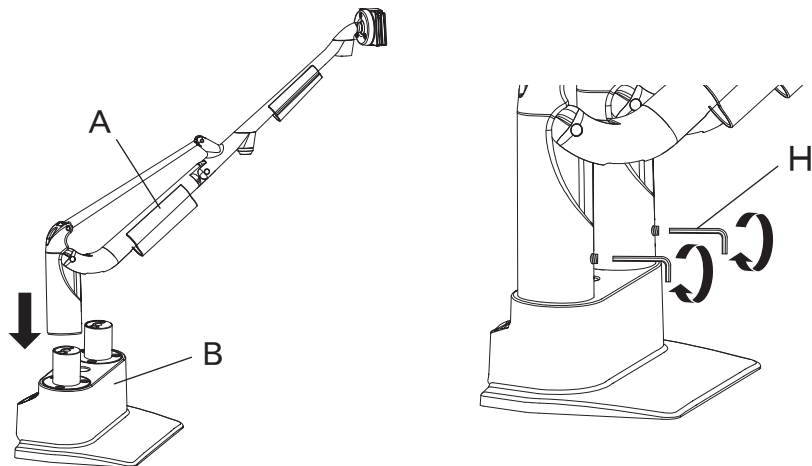
テーブルに穴を開け、そこに貫通させる事でより強固な設置をする方法（グロメット式）です。
テーブルに直径1センチ程の丸穴を事前に開けておきます。

クランプ内についている六角ネジとコの字パーツを6mm六角レンチ[E]を使って外します。
長いグロメット用六角ネジ[J]に交換し、机を挟んでグロメット用パッド[I]まで六角ネジを通してしっかりと固定します。



ステップ 3 アームの取り付け

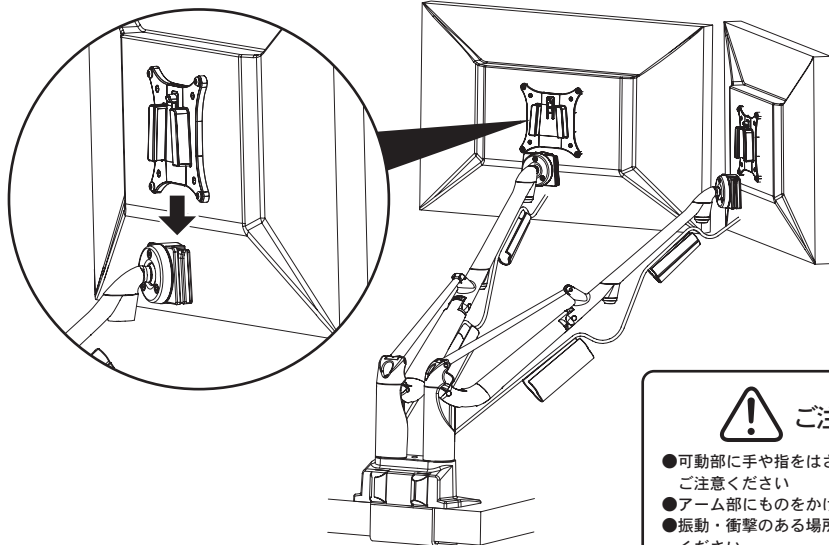
デスクに設置したクランプに、アームを上から差し込みます。
アーム根本にあるネジを3mm六角レンチ[H]で抜けないようにしっかりとロックします。



ステップ4

モニターを取り付け

モニターに取り付けたブラケット[C]をアーム先端に引っ掛け、カチッと合はまるまでしっかり差し込みます。



ステップ5

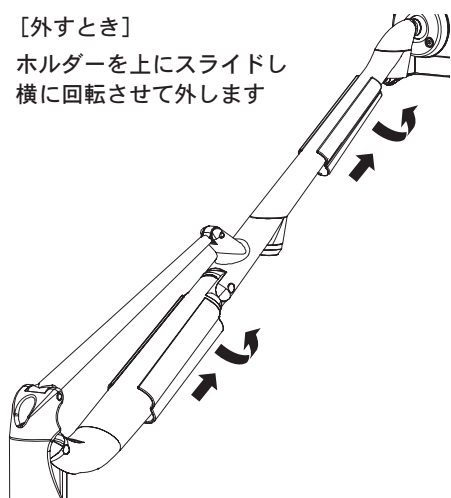
ケーブルホルダーの活用

ケーブルホルダーを上方向にスライドし、横に90度回転させて外します。

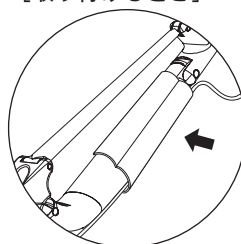
ケーブルを通したらアームの横側からホルダーをかぶせ、再び回転させながらアームに押し込んで取り付けます。

[外すとき]

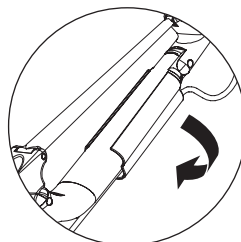
ホルダーを上へスライドし
横に回転させて外します



[取り付けるとき]



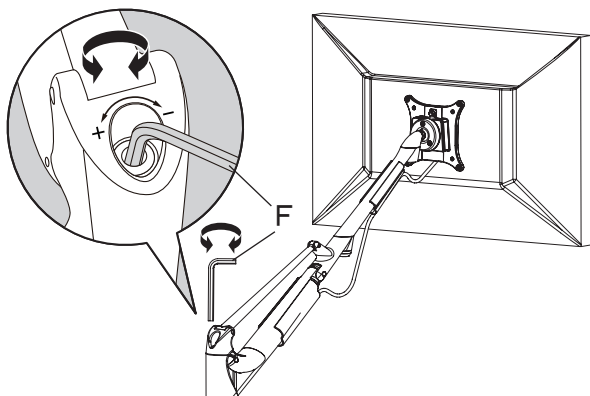
アームの横から
ホルダーを
かぶせる



回転させながら
押し込む

ステップ6 アームスプリング部のテンション調節

アームスプリングを調節する事で、アームの上下動を快適に行う事が出来るようになります。取り付けしたモニターの重さによっては勝手に下がったり上がったりする場合があります。下図を参考にして、5mm六角レンチ[F]で、スプリング強度を調節します。テレビの重さに応じて、モニターが勝手に下がる場合は「+」マーク方向へ、モニターが勝手に持ち上がる場合は「-」マーク方向へ回して調節してください。



●モニターが重い時
(アームが勝手に下がる)



●モニターが軽い時
(アームが勝手に上がる)



ステップ7 画面上下角度調節・アーム可動調節

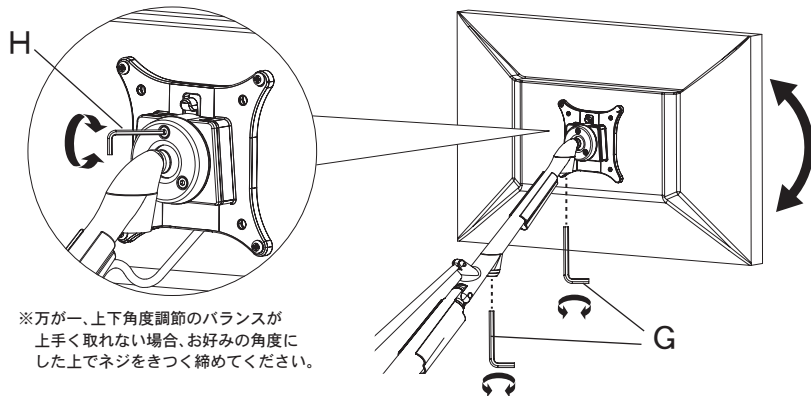
当金具はフリーロック機構です。最初に調節を行う事で画面の上下角度調節やアームの可動時にネジを緩めたりする必要がなくなります。下図を参考に六角レンチでネジの強さを調節しておきます。

●画面上下角度調節

手で上下調節が出来て、テレビが勝手に「おじぎ」をしない程度にネジを締めつけてください。

●アーム可動調節

動きが硬くて動きづらい、または簡単に動いてしまう場合はアーム関節部下のネジを回して調節します。



※万が一、上下角度調節のバランスが
上手く取れない場合、お好みの角度に
した上でネジをきつく締めつけてください。

ステップ8 取付の終了と確認

各取り付け部分や可動部分にガタつき等が無いが、チェックをしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしてください。少しでも違和感があった場合、モニターをいったん取り外してください。これらのチェック作業は3ヵ月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。